

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
61026	学校カウンセリング(A)(B) (A) クラス(火曜・2限) (B) クラス(水曜・2限)	各2単位 後期	3	講義	松田 盛雄(客)

■**テーマ** 学校における教育相談の意義及び理論を理解する。

■授業概要

教育相談は、生徒が自己理解を深めたり学校での好ましい人間関係を築けるよう適応力を育みつつ、個性を伸ばし人格の成長を支援する教育活動である。本講義では、学校現場で多発する不登校、いじめ、非行などの多種問題に対し、それを解決するための教師の対応方法について、学校カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を習得する。また、事例の理解や解決方法の検討においてはグループ討議を行い発表する。問題解決の対応だけでなく、「予防的・開発的心理教育」の包括的な指導援助の仕方を紹介する。

なおこの授業は、旧「教育職員免許法施行規則」に定める「教職に関する科目」、新「教育職員免許法施行規則」に定める「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」に位置づけられている。

■到達目標

- ・教育相談の意義や課題を理解し、カウンセリングマインドの考え方や必要性を認識する。
- ・生徒の不応答や問題行動のシグナルに気づき、背景要因や行動の意味を把握する方法を習得する。
- ・受容、傾聴及び共感的理解などカウンセリングの基礎的姿勢や面接技法を身につける。

■授業計画・方法

1. ガイダンス：「学校カウンセリング・教育相談」とは何か
2. 生徒指導（進路指導含む）と教育相談の関係性、教育相談の進め方
3. 思春期・青年期の発達課題
4. カウンセリング理論と技法（ロジャーズ理論）①
5. カウンセリング理論と技法（ロジャーズ理論）②
6. 事例を通して学ぶ－問題理解と解決方法（不登校・ひきこもり）①
7. 事例を通して学ぶ－問題理解と解決方法（不登校・ひきこもり）②
8. 事例を通して学ぶ－問題理解と解決方法（いじめ）①
9. 事例を通して学ぶ－問題理解と解決方法（いじめ）②
10. 事例を通して学ぶ－問題理解と解決方法（非行）
11. 発達障害の理解と支援のあり方（自閉症スペクトラム障害、ADHD、LD）①
12. 発達障害の理解と支援のあり方（自閉症スペクトラム障害、ADHD、LD）②
13. 予防・開発的心理教育－価値観・視点を変える
14. 予防・開発的心理教育－自尊感情の向上
15. 授業のまとめ及び期末試験

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・履修は3年次以上、教育心理学を履修済みであること。
- ・講義用レジュメや参考資料を多く配布するのでファイルにして活用すること。
- ・講義は技法の習得に時間を割くので、予め配付した資料は十分に読み込んで理解した上で講義に参加すること。
- ・ロールプレイや事例検討などに積極的な姿勢で取り組むこと。
- ・課題レポートを科するので、指示に従って期日までに提出すること。

■成績評価の方法・基準

□**方法** 評価は、平常点（20%）、レポート（40%）、定期試験（40%）などを総合的に判断して行う。平常点は授業への参加状況で判断する。レポートはコンピュータを使用して作成し提出する。

□**基準** 「到達目標」を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

□**教科書** 教科書は指定しない。教材は講義の際に配布する。

□**参考文献**

『やってみようソーシャル・スキル・トレーニング33－学級経営に生かすSST』新里健他著 グリーンチャット